

I A C S W

岩手県社会福祉士会 ニュースレター



～No. 132 秋の速報版～



一般社団法人岩手県社会福祉士会
〒020-0816盛岡市中野2-16-1 3A
TEL 019-613-5505
FAX 019-613-5506

「ヘルパー・セラピー」 会員 佐藤 隆治 氏

福祉に携わっておられる会員の皆様は誰も、忘れがたいご経験の一つや二つおありなのだろうと思います。私にバトンを繋いで下さった麻衣子さんがそうであるように、私の尊敬する社会福祉士の同志達は、自分の役割を果たすために骨を惜しむような事は一切されません。一つ一つの事案に真摯に向き合われているお姿を拝見する度に、揺らぐ事のない信念と気概を感じます。しかし、そのような方々と共に必死になってご支援した結果は、必ずしも望んでいたものになるとは限りません。

今から15年程に、アルコール依存症のTさんと知り合いました。最初の出会いの時、その方はホームレス状態でした。顔や腕は傷だらけ、衣服も靴もボロボロで、酷い悪臭を放っていました。事情を尋ねると、「仕事の誘いを受けて関東に行ったが、狭い部屋に数人押し込まれ、毎日重労働をさせられて。その上、家賃だ食事代だといったは給料を巻き上げられてさ。隙を見て、逃げだして歩いて帰ってきたんだ。」と仰いました。ある日、近所の方から「Tさんが騒いでいる」と連絡を受け、アパートを訪ねてみると、酷く酔った状態で出てこられました。すると、突然私のネクタイをぎゅっと掴み「こういうのが怖いって思う気持ち、お前は分からないのか！」と凄じ剣幕で怒鳴られました。私ははっとしました。そして「そうか…それは申し訳なかった」と謝罪しました。素直に謝罪した私を見て、その方は戸惑っていました。そして、私はこの日以来、スーツとネクタイで訪問する事を辞めました。

社会福祉士らしく、多職種の方々と連携したご支援も致しました。県南でAAの集会在盛んだと聞けば一緒に参加してみたり、一般就労先を探してみたり。様々な事を試みましたが、飲酒欲求を抑える事は出来ませんでした。入院をしても、回復したら飲酒を再開する、その繰り返しでした。しかし、アルコールは確実にTさんの体を蝕んでいきました。末期の肝硬変でした。その際に、相変わらず悪態をつくTさんの事を拒まず、受け入れて下さったのが、麻衣子さんがお勤めの中津川病院さんでした。入院中「ラジオを買ってきてくれ」「お菓子を買ってきてくれ」と何度も呼び出されました。私以外、誰も彼を見舞う人はいませんでした。ある日、麻衣子さんから「もう長くないから会ってあげて」と連絡を頂きました。病室に通して頂くと、その病気特有の臭いが充満しており、事の重大さを認識しました。「おーい、大丈夫？」と声を掛けると、朦朧とした意識の中、今にも消えてしまいそうな弱々しい声でたった一言「ああ…申し訳ねえなあ…」と仰いました。その翌日、Tさんは息を引き取られました。

人助けをしたくて社会福祉士になったにも関わらず、望まない別れがどうしても付きまといまいます。その度に、自分の支援の至らなさを悔やみます。一方で、その度に、同じ志を持った仲間がいる事に救われます。そんな素晴らしい同志に巡り合わせてくれたのがご相談者様です。人助けをしているつもりでいても、結局のところ、助けられているのは自分の方なのだと思うのです。

次回は、長年に渡りお世話になっている社会福祉法人松実会・ケアハウス巣子の、古川栄美子施設長にお繋ぎ致します。

新理事紹介

6月4日(日)に開催した当会定期総会にて第18期役員選挙にて新役員が決まりました。

新しく選任された方々から挨拶をいただきます。

新副会長 西尾 卓樹

社会福祉士会が設立され 30 周年を迎える節目の年、副会長という大役を拝命しました西尾卓樹と申します。

設立当初から関わらせていただきましたが、当時は諸先輩の方々の後ろをついて行っただけだったように思います。一時期は幽霊会員になりかけそうになったことも・・・(決してサボっていたわけではなく、他の職能団体、事業者団体に力を注いでいたと言いつくさせていただきます)

30 年という歴史の重みを感じ、定年を間近に控えた年齢となりましたが、隠居する気はさらさらなく、生涯ソーシャルワーカーとして活動して参りたいと思います。

我々の活動するフィールドは社会的にも個人的にも多様化、複雑化、細分化してきています。改定された倫理綱領を拠り所とし、ソーシャルワークを実践する集団として、基本はガチで、時には緩く取り組んでいきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

Here we go !

新事務局次長 白畑 勇

この度、事務局次長に就任しました白畑勇です。盛岡ブロック所属で職場は児童養護施設和光学園(県社会福祉事業団)です。

理事としては、ぱあとなあ選出で 3 期目となります。理事会を通じて、社会福祉士会の運営や課題に関わ

りましたが、委員会の数をみてもわかるように会に求められる役割もますます拡大しているため、理事をしていても自分の関わる分野以外は、なかなか当事者意識を持つことが難しいと感じています。

事務局次長として、より深く会務に関わるようになりますので、組織課題を含め、目の前の課題一つひとつに向き合っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

新監事 阿部 鮎美

この度、監事を務めさせていただくこととなりました阿部鮎美と申します。

このような大役を務めるにあたり身が締る思いではありますが、社会福祉士会の監事として正確かつ公平に役割を果たすようより一層の責任感を持って努めたいと思っております。何分、微力でありますので、何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

私は、社会福祉法人志和大樹会 百寿の郷介護保険相談所の介護支援専門員として、高齢者本人やご家族からの相談の一つ一つに向き合いともに思いを巡らせ、思案を繰り返しているうちに気がつけば 20 年が経っていました。またここ数年は社会福祉法人として地域にどのような貢献ができるか、地域の福祉課題や生活課題に向けた取り組みを町内4法人と連携し公益的に取り組んでいるところでした。

ケアマネ業務はケアパッケージという一部の声を聞いたことがありましたが、一人一人対象者は異なりますし相談内容も一つとして同じではありません。一つ一つ携わらせていただくことで多くの体験や学びの機会をいただいていると感じております。一つ一つの個への関りや地域に向けた取り組みを今後も続け、地域の福祉に貢献すべく力を注いでいきたいと思っております。



新理事 高橋 洋子

この度、理事を拝命いたしました高橋洋子です。私は、今年3月末で遠野市社会福祉協議会を定年退職しました。在職中は、在宅介護支援センター相談員、居宅介護支援事業所や地域包括支援センターでケアマネ業務を、地域福祉部門では法人後見や日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付、共同募金、ボランティアセンターなどを担当、また地域活動支援センターで障がい者支援も経験してきました。ひとつの「専門分野」を極めることはできませんでしたが、「広く浅く」そして社協の使命である「地域福祉」を地域の方々と一緒に取り組んでまいりました。

平成29年度から、遠野市と社協が取り組みをスタートさせた国のモデル事業「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業から、「重層的体制整備事業」へと進める中で、「領域を超えた狭間の部分をどのようにつなげるか」ということが非常に重要だと痛感しました。

社会福祉士会は地域で暮らす人々に関わる多種多様な専門分野の会員が所属しており、分野横断的な体制整備の要となることが今後益々期待されるのではないかと考えております。微力ではありますが、これまでの経験を会のために役立てられれば幸いです。どうぞ宜しくお願いいたします。



新理事(地域共生社会委員会委員長) 齊藤 穰

今年度より県社会福祉士会理事に就任いたしました齊藤穰(さいとう ゆたか)です。

職場は岩手県社会福祉協議会の地域福祉企画部で、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしてゆけることができる豊かな福祉社会」実現を目指し、市町村社協や民生委員・児童委員活動支援、ボランティア・市民活動センター、東日本大震災被災者支援、ひとり親家庭支援、コミュニティソーシャルワーカー養成

&活動支援、県里親会運営、生活福祉資金貸付・償還、日常生活自立支援事業、生活困窮者自立相談支援事業などに携わっています。

「地域共生社会の実現」には、「言うは易く実現するには難しさ」を感じていますが、日常業務と会の活動を進めることにより県民の幸せにつなげることができよう、日々精進を重ねていきたいと思っております。

今後ともよろしく願いいたします。



新理事(ユース委員会委員長) 渡辺 梨枝

今年度、ユース委員会を担当させていただくこととなりました。社会福祉法人千晶会に所属している、渡辺と申します。日頃、介護支援センター(地域包括支援センターのランチ)の相談員として働いております。

さて、このユース委員会は若手社会福祉士が集まり、若手ならではの悩みや疑問を気軽に相談しあい、顔の見える関係づくりをすること、そしてモチベーションアップや社会福祉士の魅力の再発見につなげることを目的にしていると理解しています。

コロナ禍で、ここ数年は今までのような活動が出来ませんでした。今年度は、「参加してみたい」と思っていたような企画を考えていけたらと思っています。皆さまからも企画の提案をお待ちしておりますので、お気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願い致します。

新理事(地域包括委員会委員長) 松戸 智美

この度、理事を拝命いたしました松戸智美と申します。勤務先は奥州市地域包括支援センターです。奥州市は令和2年度から包括を委託しており、私は直営の基幹型包括勤務です。担当圏域を持たない包括のため、委託前は訪問と事業に追われていたが、



最近では会議とデスクワークが多くなっています。そのため、包括での勤務歴は10年を超えましたが、現在は包括勤務と言いつつ最前線ではない気持ちもあり、そんな私が地域包括支援委員会の委員長を務めてよいのか？という気持ちもありました。しかし、拝命したからには微力でも貢献できるよう頑張りたいと思っています。

地域包括支援センターが設置されて15年以上経過し、職員の経験値も、抱える業務も様々で、委員会に求められるものも一様ではないように感じています。

日々の仕事に追われがちでしたが、今回のニューズレター寄稿をきっかけに気持ちを新たに会のためにできることに取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

久慈ブロック新代表 泉 伸



久慈ブロックの代表となり、6月よりブロック理事に就任いたしました泉伸と申します。平成22年に社会福祉士を取得し社会福祉士会に入会しました。委員会では以前、子ども家庭学校委員会、実習指導者委員会に所属していました。平成26年4月から令和5年3月までの9年間スクールソーシャルワーカーを経験させて頂きました。社会福祉士会には「ぱあとなあ」がありますが、精神保健福祉士会には認定成年後見人ネットワーク「クローバー」があります。私はそこに登録しており2件受任し、細々と私ができる範囲の活動しております。ちなみに岩手県内のクローバー登録者数は2人(令和5年6月10日現在)で、「ぱあとなあ」が眩しく感じます。

私は現在、介護老人保健施設の事務職と法人運営の管理業務が主で日々忙しく、一日一日に感謝しながら仕事をしています。少し背伸びをしてチャレンジしていると、周囲から地域の活動などに誘われるよ

うになり、気づいたら消防団やPTA役員の経験をさせてもらい、自分からはやろうと思わない新しい経験をすることができています。今回もこうした新しい経験を与えて頂き、私は運良く周りに恵まれていると感謝しています。微力ながら今の自分ができる事を丁寧に、貢献できればと思います。



盛岡ブロック新代表 関澤 裕子

盛岡ブロックの代表の関澤と申します。役員就任にあたり、私と県士会との関りを振り返ってみました。

私は一般企業に勤務したあと、縁あって「医療相談室」の開設のために病院に採用されました。福祉や医療のことを全く知らない状態で入職しましたので、休日は大きな書店で福祉系の本を探し求めてウロウロしたりしながら、無我夢中で持ち込まれた患者さんの課題を解決しておりました。そんな中、近隣のMSWから「埼玉県医療社会事業協会」に誘われて会員となり、「研修」に参加するようになって、自分の実践に「名前」があること分かり、自分が感じる葛藤の「根拠」がわかる体験をして、ソーシャルワーカーという仕事の面白さにはまり、社会福祉士の資格をとりました。岩手県社会福祉士会に入会してからも、県士会から研修会の案内は欠かさず見て、特に盛岡ブロック開催の研修会では、平日の夜や土曜日の午後、青山和敬荘、上田公民館、浅岸和敬荘などにせっせと通ったことが思い出されます。私にとって福祉士会の研修は、自分の実践を振り返る場として私を支えてくれました。

ということで、私の場合は「研修」が専門職団体に所属している大きな意味の一つでしたが、会員の皆様それぞれが、専門職団体に入っている意味を見つけられる会であり続けるように、尽力していきたいと思っております。



両磐ブロック新代表 小原 良子

両磐ブロック代表となりました小原良子です。現在は一関市大東町猿沢にあるにこにこプラザいわい居宅介護支援事業所で、介護支援専門員として勤務しています。岩手県社会福祉士会には大学を卒業した平成15年より所属しています。活動を思い返してみると、入会当初は先輩方と一緒に福祉相談会を実施したり、福祉施設見学をしたりしましたが、結婚を機に恥ずかしいくらい活動できていない自分に気付かされました。

そして、ここ数年はコロナ禍により、ほとんど活動もできませんでした。

現在、一関地域も独居世帯、高齢世帯が多く、「足がなくて買い物に行けない。電球が変えられない。人工減少に伴い公共機関が縮小し近くで用が足せない。」など生活のしづらさを感じる事が多くなっています。それに加えてコロナ感染対応。制限もあり、なかなか思うように支援ができず、もどかしさを感じる日々です。

「地域共生社会って何だろう」と最近考えさせられます。田舎で育った私だが、そこから学ぶことが多いのではないかと感じます。0歳児を預けられる保育園や幼稚園は近くに無かったため、祖父母や地域の方が子守りをしたり、食材が足りない人がいたら「うちにあるよ」と差し入れをしたり、自然に地域住民が繋がりが合っていました。近所付き合いも多く、いつも隣近所の人を気にかけながら生活していました。

制度では解決できない「支え合い」、「つながり作り」のきっかけ作りが社会福祉士として何か活動出来たら良いなと思っております。

沿岸ブロック新代表 高屋敷 大介

このたび、沿岸ブロック代表と本会理事を拝命致し

ました。元来、適当な性格の私などが担えるのだろうかという不安もありましたが、世の中よくできているもので、沿岸ブロック事務局担当に、宮古市社会福祉協議会有原領一さんが就任してくれました。彼はしっかり者で調和と調整を自然にできる力があり、私も安心して職務を全うできています。この場をお借りして、いつもありがとうございます。

さて、沿岸ブロックにとって地域社会の変革を余儀なくされた東日本大震災は大きな衝撃でした。当時、「絆」というキーワードのもと、人とのつながりを見据えた地域社会を理想としました。その後、新型コロナウイルス、ソーシャルディスタンスなど、人との距離感がテーマとなり、コロナ改善に私たちが構築してきた様々なシステムの変化を突き付けられました。目まぐるしく変化する社会に対して、時に強く、時に柔軟な対応が求められることに気づきます。

これまで歴代の役員の方々や会員一人一人が気付いてこられた道筋を継承しながら、その時代、その社会に求められる社会福祉士の在り方について、会員の皆様と模索していきたいと考えております。そこには、少しだけ楽観と希望とユーモアを忘れないでいたいとも思っております。よろしく願い致します。

気仙ブロック新代表 千田 富士夫

平成22年から5期ブロック選出理事を勤め前期で卒業しましたが、ブロックの事情でリリーフ的に再就任することになりました。気仙ブロックは、大船渡市、陸前高田市、住田町の2市1町で構成されており、ブロックの所属会員数が30~35人程度で、人数的には最小ブロックですので、顔の見える関係でネットワークができるとともに、会員の意見が反映された活動に取り組んで参る所存です。どうぞよろしくお願い致します。



インフォメーション

【活動予定】 2023年8月31日現在 詳細はホームページに掲載。

9月		
9月2～3日(土日)	都道府県社会福祉士会会長会議	ビジョンセンター東京八重洲
9月 9日(土)	成年後見人材育成研修③	ふれあいランド岩手
9月 9日(土)	基礎研修Ⅲ③	ビッグルーフ滝沢
9月 14日(木)	9月正副会長会議	中野事務所
9月16日(土)	新入会員オリエンテーション・懇親会	マリオス・Web 懇親会:盛岡駅近郊居酒屋
9月23日(土)	基礎研修Ⅱ③	ふれあいランド岩手
9月30日～10月1日(土日)	実習指導者講習会	岩手県立大学
10月		
10月 7日(土)	基礎研修Ⅲ④	ビッグルーフ滝沢
10月 7日(土)	スクールソーシャルワーカー ネットワーク会議④	ふれあいランド岩手
10月 8日(日)	介護支援専門員実務研修試験	ツガワ未来館アピオ
10月 10日(火)	10月正副会長会議	中野事務所
10月14日(土)	成年後見人材育成研修④	ふれあいランド岩手
10月14日(土)	創立30周年記念研修会	マリオス・Web
10月21日(土)	理事会③	盛岡市社会福祉協議会
10月28日(土)	ばあとなあスキルアップ研修③	ふれあいランド岩手
10月28日～29日(土日)	社会福祉士東北・北海道研修大会	フォーラムアキタ(秋田市)
11月		
11月 3日(祝金)	社会福祉士模擬試験	岩手県立大学
11月 4日(土)	基礎研修Ⅲ⑤	ふれあいランド岩手
11月11日(土)	基礎研修Ⅱ⑤	ふれあいランド岩手
11月18日(土)	創立30周式典・記念講演・祝賀会	ホテルカーリーナ
12月		
12月 2日(土)	基礎研修Ⅲ⑥	ビッグルーフ滝沢
12月 2日(土)	基礎研修Ⅱ⑥	ふれあいランド岩手

12月 2日(土)	スクールソーシャルワーカー ネットワーク会議⑤	ふれあいランド岩手
12月 3日(日)	ばあとなあ名簿登録研修	ふれあいランド岩手
12月 9日(土)	ばあとなあスキルアップ研修④	
12月10日(日)	基礎研修 I ②	ふれあいランド岩手

【新入会員オリエンテーション・懇親会】

新入会会員（凡そ入会3年未満）の皆様を対象に、入会の特典と会員としての諸手続きについて理解をいただき、会員同士の情報交換・懇親会の機会として企画いたしました。多くの会員の参加をお待ちしています。開催要項を掲載しますので宜しくお願い致します。

【創立30周年記念行事の紹介】

岩手県社会福祉士会は、今年で創設30周年を迎えます。30周年に当たり理事会で記念行事について協議しました。5年前に「25年記念誌～ささえる・つなぐ・まもる～」を発行した経緯がありますが、時の流れのけじめとして、開催することで確認しました。開催要項（案）の段階ですが、お知らせします。詳細が決定しましたらHPに掲載します。

30周年に併せて当会への叱咤激励のひとつとして、10月14日(土)に記念研修会を企画しました。開催要項を掲載しますので宜しくお願い致します

【eラーニング視聴に係るパスワード】

岩手県社会福祉士会員の皆様には、eラーニング講座を無料で受講いただけます（一部有料）。eラーニング講座を視聴になるには生涯研修パスワードとユーザーIDが必要です。（日本社会福祉士会HP会員ページのパスワードとは別です。）

ユーザーID、パスワードが分からない方は、日本社会福祉士会または当会事務局（山口）へお問合わせください。メールでお問合せする際は本文に「氏名」「社会福祉士登録番号」「会員番号」「生年月日」を入力してください。本人確認ができましたらユーザーID、パスワードをメールで送信させていただきます。

各講座は大変充実した内容となっておりますので、是非ご覧いただきたいと思います。



【ホームページ会員専用ページパスワード】

今春に当会ホームページリニューアルしました。会員専用ページのパスワードは以下の通りです。

会員専用ページ パスワード: iwate2023 (半角)



<編集担当>

一般社団法人岩手県社会福祉士会

事務局 山口依里

〒020-0816 岩手県盛岡市中野二丁目 16-1SETビル 3階A

TEL.019-613-5505

2023年8月8日

岩手県社会福祉士会 会員各位

岩手県社会福祉士会
会長 坂 口 繁 治

2023年度新入会員オリエンテーション・懇親会の開催について（御案内）

炎暑の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、岩手県社会福祉士会に入会されたことに歓迎いたします。

新入会会員の皆様に会の運営を理解いただき、入会の特典と会員としての諸手続きについてオリエンテーションを行う機会としました。併せて、会員の横のつながりを図ることをねらい、情報交換・懇親会を企画いたしました。

万障繰り合わせのうえ参集下さるよう御案内申し上げます。

記

1. 日 時

2023年9月16日（土）15:00～20:00

2. 会 場

・オリエンテーション会場：①マリオス180会議室(18階) ②Web会場
(ZOOM)

・懇親会会場：盛岡駅前近郊 居酒屋

3. 参加対象

- ・今年度入会会員に限らず、入会后概ね3年程度の会員を対象とします。
- ・上記以外に参加を希望される会員は、担当に問い合わせください。

4. 日程及び内容

- ・14:30～ 受付
- ・15:00～16:45 歓迎オリエンテーション
 - ① 岩手県社会福祉士会の役割、入会特典と会員の責務について
 - ② 各委員会、ブロック活動について
- ・17:00～20:00 懇親会
会費：4,000円（当日、会場でお預かりします。）

5. 担当及び連絡先：岩手県社会福祉士会 副会長 佐藤雅子

・問合せ先 事務局 メール：info@iwate-csw.or.jp 電話：019-613-5505

6. 申込先：下記の Google フォーム URL から申し込み下さい。

https://docs.google.com/forms/d/1gVnkufgLznFOUaeJ84CX_BShcOHQNBjkjbsC-Xmlpdo/edit

7. 申込締切：9月8日（金）

8. その他

- ・オリエンテーションは、会場参集と Web 参加を選択できます。
- ・懇親交流会の会費は、会場でお預かりします。



(申込 QR コード)

2023年8月25日

岩手県社会福祉士会
会 員 各 位

岩手県社会福祉士会
会 長 坂 口 繁 治

岩手県社会福祉士会
創立 30 周年記念研修会の開催について（御案内）

炎暑の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお喜び申し上げます。

当会は、本年度で創立30周年を迎えます。30周年を記念し、あらゆる分野でソーシャルワーク機能が求められている昨今において、これからの社会福祉士の役割や機能について考える機会とて研修会を企画しました。とりわけ、行政に所属する社会福祉士の立ち位置について、講師の豊富な経験から貴重な視座が得られると考えています。

多忙な折ですが、万障繰り合わせのうえ参集下さるよう御案内申し上げます。

記

1. 日 時

2023年10月14日（土）15:00～17:00
（受付 14:30～ ）

2. 会 場

- ・マリオス 183・184室
- ・Web 開催（ZOOM ミーティング）



3. 内 容

(1)テーマ：「地域包括支援におけるソーシャルワーカーの役割」

-複合的な生活課題の解決に向けた重層的支援体制整備事業から考える-

講 師：岩手県立大学社会福祉学部 客員教授 齋 藤 昭 彦 氏

(2)懇 親 会：

①時間：17:30～ ②参加費：4,500 円 ③会場：盛岡駅前近郊 居酒屋

4. 担 当：岩手県社会福祉士会 事務局長 熊谷

5. 申込先：以下の Google フォーム URL から申し込みください。

https://docs.google.com/forms/d/18Y0F_4OCCQSQExn1Df2qawACt68o6MJeUG0zrer69H3U/edit

6. その他

- ・ 参加対象は、当会会員及び入会希望者に限定します。
 - ・ 参加は、「会場参加」「オンライン参加」を選択できます。Google フォームで申込に際は記入下さい。
 - ・ オンライン参加 URL は、10/11(水)に申込のメールアドレスにお知らせします。
 - ・ 記念研修会終了後に、盛岡駅前の居酒屋で講師先生を囲み懇親会を計画します。
- とりわけ市町村行政機関に所属する会員の皆様は、行政社会福祉士の交流を図りたいと考えていますので、参加についてご検討を宜しくお願い致します。

一般社団法人 岩手県社会福祉士会
創立 30 周年式典・記念講演・祝賀会開催要項（案）

1. 趣 旨

本会は、日本社会福祉士会の設立（僕の前に道はない、僕の後ろに道ができる）を受けて、1993 年 5 月 29 日に設立宣言（イーハトーヴォの理想郷）を掲げて設立し、30 年を迎えました。この間、めまぐるしい時代の変遷と共に、ますます求められるソーシャルワークへの期待が高まっています。

創立 30 周年を記念し、これまでの関係機関各位の連携に感謝とお礼を申し上げつつ、社会福祉士の使命と役割を再確認し会員相互の結束を図るとともに、近未来の課題の共有を目的として開催するものです。

2. 日 時 2023 年 11 月 18 日（土）15:00～19:00

3. 会 場 ホテルニューカーリーナ 盛岡市菜園 2-3-7 TEL 019-625-2226

4. 日程・内容

14:30 受付

15:00 式典

主催挨拶

祝辞

感謝状贈呈

15:30 記念講演

演題「ジェネラリスト・ソーシャルワーク」（最終講演）

～過去と未来との対話：諸先輩からの伝言と未来へのタスキ～

講師 岩手県社会福祉士会 相談役 佐々木裕彦 氏

社会福祉法人岩手和敬会参与

岩手県介護支援専門員協会顧問

社会福祉法人東北福祉会評議員

東北福祉大学特任教授

岩手県立大学大学院非常勤講師

一般財団法人日本総合研究所非常勤講師

17:00 祝賀会

19:00 閉会

5. 参加費 祝賀会費 8,000 円(参加費の一部を会で負担します。)

6. 参加申込 ブロックで取りまとめ受付けますので、ブロック事務局に申込下さい。

7. 申込締切 2023 年 11 月 6 日（月）

8. 問合せ先・担当

一般社団法人 岩手県社会福祉士会 TEL019-613-5505 事務局：伊藤

創立 30 周年記念行事企画委員会：西尾・佐藤

9. その他

- ・ 宿泊を希望される際は、同会場のホテルニューカーリーナを利用できます。（素泊まり 6,800 円、朝食付き 8,300 円）各自で予約下さい。